



発行日：2024 年 12 月



ムーンスターの 会社概要

社 名：株式会社 ムーンスター

設 立：1873 年（明治6年）

代表者：代表取締役社長 井田 祥一

社訓

走る者はつまずきやすく、つま立つ者は倒れやすい。
堅実なる一歩ずつを進めよ。進めたる足は堅く踏みしめよ。

経営理念

すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために

ムーンスターは1873年（明治6年）に久留米で創業しました。座敷たびの生産に始まり、技術の向上とともに革靴やスニーカーへと、ニーズに合わせた商品を提案してまいりました。時代や価値観は変わっても、“御誂向御好次第”（おあつらえむきおこのみしだい）という創業者の精神を忘れず、「まごころ」と「こだわり」を、一足一足に想い込めて大切にお届けしています。

経営理念には“ただ商品としての靴を提供する存在ではなく、「笑顔」と「しあわせ」を提供する存在でありたい”という想いが込められています。明治初期から、福岡・久留米という地域に支えられながら150年、これからもムーンスターの靴がお客様の生活に寄り添い共に歩いていけるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。



久留米本社の工場の屋根です。「のこぎり屋根」と呼ばれており、屋根の短辺が北向きに設置されています。北向きなのは工場内に直射日光をほとんど入れずに、安定した採光をもたらす効果があるからです。これにより天候によって光量あまり左右されず、工場内で日光による明暗が出ないようにしています。加えて、真夏の熱も入りにくくなっています。



ムーンスターの これまでの歩み

ムーンスターは福岡・久留米を原点に、これまでさまざまな歴史の場面で見なさんと共に歩んできました。時代や価値観が変わっても先人たちの思想を大切に、これからも長く続いていく会社でありたいと思います。



1952
ヘルシンキオリンピック、
マラソン日本代表選手への
商品提供。この頃から
スポーツシューズが
大きく発展。後にジャガー
シリーズへと繋がる。

スクールカラー発売。
1964

ムーンスターの
代名詞。この頃に、
現行品の形と
なりました。

速く走るために、
最新のテクノロジーと
最新のデザインを
搭載しました!!



2001
SUPERSTAR発売。

2016
WORLD MARCH PRIDEが
グッドデザイン賞受賞。



2009
SUPERSTAR
「パネのチカラ」発売。



2013
スクールカラー-M
グッドデザイン・
ロングライフデザイン賞受賞。



2016
CHIC INJECTION発売。



2020
810s発売。



2017
BALANCE WORKS発売。



2022
インユース発売。



2018
SKOOLER発売。



2022
SPxx発売。

1966
インジェクション製品の
第1号「α:ジュニアレイネット」
生産開始。現在でも当社の
コンフォートシューズなどに
使用される技術が確立。



1987
WORLD MARCH発売。



1973
ミスターブラウン発売。



1980
ジャガー-Mシリーズ発売。



1987
EVE発売。



1988
SPORTH発売。



2013
FINE VULCANIZED発売。

ムーンスターの
新たな定番品の
完成です。



1925
運動靴やゴム長靴製造が
本格的に開始。



1939
第二次世界大戦勃発により、
ゴム履物統制令が発令され、
学童用と労働用以外の
ゴム履物が製造中止。



1957
上履き1号「Aシューズ」発売。



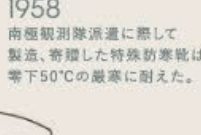
1958
南極観測隊派遣に際して
製造、寄贈した特殊防寒靴は、
零下50℃の厳寒に耐えた。



1959
バルカナイズング・プレス
プロセス(加硫圧着方式)
という合成ゴムを応用し、
革靴の製造開始。



1973
ミスターブラウン発売。



1979
中国での技術指導を
開始する。



1985
輸入拡大により、
貿易貢献企業として
通産大臣より表彰。



1993
創立120周年。
社名ロゴ改定。



2003
中国事務所設立。



2004
「株式会社テクノ月星」設立。
化成事業を分社化。



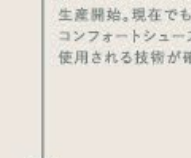
2006
「株式会社ムーンスター」
へ社名変更。
社名ロゴ改定。



2015
アメリカに「TSUKIHOSHI
INTERNATIONAL
CORPORATION」
を設立。



2016
「株式会社ムーンスター
リテールソリューションズ」
設立。



2018
キッズニア東京に
「くつ工場」パビリオン出展。



2020
福岡県に「ALSO MOONSTAR」
をオープン。



2022
自由が丘に「MOONSTAR Jiyugaoka」
をオープン。



2023
創立150周年。



150th ANNIVERSARY



Product

Company

1894
日本で初めて足袋製造に、
ドイツ製ミシンを導入。
機械化による大量生産開始。
(導入当初は非常に高価だったため、
世評を恐れ、隠れて使用していた。)



1917
倉田金蔵が
2代目豊平製名。
「つちやたび合名会社」
を設立し増産体制に入る。

1918
倉田泰三が
3代目社長就任。



1928
「月星印」を
採用し、海外輸出が
活発になる。



1931
「つちやたび株式会社」
となる。

1939
「日華護国工業株式会社」
に社名変更。

1949
「日華ゴム株式会社」
へ社名変更。



1962
「月星ゴム株式会社」
へ社名変更。

1963
輸出振興の功績により、
業界初の内閣総理大臣賞
を受賞。

1971
倉田九平が
代表取締役社長に
就任。



1972
「月星化成株式会社」
へ社名変更。



1973
創立100周年。

1979
中国での技術指導を
開始する。

1985
輸入拡大により、
貿易貢献企業として
通産大臣より表彰。

1993
創立120周年。
社名ロゴ改定。



2003
中国事務所設立。



2004
「株式会社テクノ月星」設立。
化成事業を分社化。

2006
「株式会社ムーンスター」
へ社名変更。
社名ロゴ改定。

2015
アメリカに「TSUKIHOSHI
INTERNATIONAL
CORPORATION」
を設立。

2016
「株式会社ムーンスター
リテールソリューションズ」
設立。



2018
キッズニア東京に
「くつ工場」パビリオン出展。



2020
福岡県に「ALSO MOONSTAR」
をオープン。

2022
自由が丘に「MOONSTAR Jiyugaoka」
をオープン。

2023
創立150周年。

150th ANNIVERSARY

1873

「初代 倉田豊平」座敷足袋の生産を開始。
商号を「つちやたび店」とする。

ムーンスターの ラインナップ

ムーンスターでは、赤ちゃんからお年寄りまで、老若男女の生活に寄り添った商品開発を行っています。快適な歩行を実現するために、靴ごとに異なる製造方法や機能を提案し、多様な生活スタイルに最適な靴を提供しています。

PASTEL

リハビリシーンを想定した、室内向けの軽量シューズ。長さ調整可能な幅広ベルトによって着脱しやすい設計です。片足での販売にも対応しています。

SLOW FACTORY

SLOW FACTORY のフロントステッチダウン DUS 製法の商品です。ムーンスターの佐賀工場で作られています。左右のパターンは着物の前合わせのようなデザインです。

【スベラン®】とは
氷の上でも滑らない
シロクマの足裏の
体毛をヒントに
開発された氷上防
滑テクノロジー！

SPORTH HOMME

雪寒地区で働くビジネスパーソンに向けた商品です。革靴を生産しているムーンスターの佐賀工場で作られています。ソールにはウールガラス繊維を配合した3D ナノスベラン®を搭載しています。

810s KITCHEN

厨房や食品工場で使われるキッチンシューズをデイリーユースに仕立てました。油や水に濡れた床面に吸い付くマルチストッパーソールや手入れが楽なアッパー素材を採用しています。

FINE VULCANIZED GYM CLASSIC

1960 年代に生産していたトレーニングシューズを元に履き心地とシルエットを見直し、現代に再現。今では簡略化されている当時の作りをそのまま再現することで、より丈夫な仕様となっています。ムーンスター久留米工場のヴァルカナイズ製法で作られています。

【パワーバネ®】とは
ムーンスターが独自に
開発した特殊なゴム。
靴底でバネのような働
きをすることで地面を
踏み込むときのパワー
を蓄積、蹴りだすと同
時にそのパワーを推進
力に変えます。

SUPERSTAR

誰よりも速く走りたいと願う子どもたち向けに開発した SUPERSTAR® は、速く走る機能「パワーバネ®」を搭載したシューズです。2001 年の初号発売以来、常に「速く走れるシューズ」を探索し続けています。

【4つの思いやり】とは



子どもの足はとてもデリケートです。そんな子どもの足の「正しい成長」をサポートする機能がこの「4つの思いやり」です。

CARROT

キャロットの代表モデルです。子どもの日常生活に合わせた 4 つの思いやりと、現代ニーズに沿ったミニマルかつ洋服に合わせやすいデザインが特徴です。

EVE

ムーンスターのコンフォートシューズです。足なじみのいい素材使いに、低反発ウレタンを使用した「ふわビタ中敷」、つまずきにくいアウトソールなど、快適な歩行のため様々な工夫が備わっています。

SKLSHÖTER

「スキルを解き放て」をコンセプトに子どもたちの多様化するシーンに合わせ開発されたスキルシューター。踏み込む際の荷重によって発動する「SKL」をアウトソールに搭載しています。

ムーンスターの ものづくり

靴づくりの工程は数え切れないほどありますが、ムーンスターではすべてを自分たちでできなければ、本当につくりたい靴はつくれないと思っています。また、人事や営業、そして市場からの意見にいたるまで、たくさんの人の意思と技術のつながりが、私たちのものづくりを支えています。

商品企画・開発

市場調査
コンセプト設計
デザイン製作

市場調査や様々な検証データを基に、製品のコンセプト設計を行います。素材やカラーの選定、スケッチなどのプロセスを経たプロトタイプで検証を行いながら、市場投入に向けて製品の設計に進みます。



市場
売り場
展示会
SNS

ムーンスターの商品が店頭に並び、お客様の手に渡り履いてもらうことで、私たちのものづくりは完結します。そこからさまざまな反応やご意見を元に、新たな商品開発が始まります。



営業

商品の紹介・商談
売り場のフォロー
新規顧客の開拓

既存・新規顧客へ商品の紹介や商談を行います。また、ものづくりにも関わり、市場調査や競合分析、商品・サービスの開発、企画の考案、実行などを担当します。取扱店でのイベント対応なども行います。



材料調達

材料の調達・管理
海外工場との取引
材料コスト管理

国産製品に使用する綿布・ゴム・ウレタンなどの材料の調達や管理、海外工場生産品では、中国やアセアンの委託工場、青島の自社工場と輸入取引を行います。材料のロット管理もしています。



工場

生産設備の管理
靴の製造
工場の生産管理

ゴムの精練、裁断や縫製に携わる職人だけでなく、工場で使用する靴型や機械にいたるまで、あらゆるものを社内で作ることができる職人集団。最適な生産計画に基づき、原材料から完成品まで一貫した体制で生産しています。



技術開発

素材分析・開発
機能の研究開発
製品試験

ゴムや樹脂の配合・新素材開発など新商品提案に向けて、様々な視点で開発を行います。一つの商品でもさまざまな素材が使われる靴は、組み合わせを間違えると不具合が起こります。そのため事前にさまざまな製品・素材試験を実施しています。



人事・総務・経理

働く環境や制度の整備
契約書や知財の管理
お金と取引を記録・管理

ムーンスターの管理部門として、事業活動に共通するヒト・モノ・カネ・情報を管理しています。会社運営に必要な直接的な実務を担います。



品質保証

品質調査・管理
製品検査
社内規格の整備

安心・安全な製品をお届けするために、国内・海外で生産されるすべての商品の品質管理・製品検査を行っています。また万が一お客様にご不便をおかけした場合のケアと原因調査を行っています。



マーケティング

市場や顧客のニーズの把握
営業企画・販売促進
ブランドイメージの構築

企業価値向上のための戦略を立案し、販促・PR等の企画や取り組みを通して、お客様とのつながりをつくり、ムーンスターだけでなく近隣地域の成長や発展を促します。ムーンスターができること・やるべきことは何か考え実行しています。



工業所有権

知的財産権の管理・保護
権利侵害への対応
知的財産権の戦略的運用

特許、実用新案、意匠、商標の出願や接触調査、知財チェックなどムーンスターの財産を守る役割になっています。また他社の権利を侵害していないか事前に調査・管理することでムーンスターの信頼も守っています。



ムーンスターの コミュニティ

私たちは、人・地域・文化のつながりの中で生きるコミュニティランドを目指しています。さまざまな場所でのつながりを大切にしながら、より良い靴づくり、より良い暮らしについて考えていきます。



ALSO MOONSTAR

福岡市中央区薬院にある、ムーンスターのものづくりの哲学を体感できる場所。「Made in Kurume」のスニーカーをメインとしたプロパーアイテム、コラボなどの限定品や、靴を製造する過程で出る廃材を活用したオリジナルプロダクトを展開しています。また、ギャラリーとしての利用や、ものづくりを体験できるワークショップなど、ライフスタイルをより良くする提案を行なっています。

ALSO



ムーンスターの ショールーム

久留米本社・東京オフィス・各営業所にショールームを設置しています。シーズン毎に実施される商談会は各エリアのショールームで行われており、それぞれの商品コンセプトを理解いただけるように、工夫を凝らした展示を心がけています。展示は常設されており、商談は元より、社員はいつでも商品を見たり、履いたりして確認することができます。

SHOWROOM

Genki-Kids®

ゲンキ・キッズは、フィッティングを重視した接客をする“子ども靴専門店”として、全国に展開しています。子どもの成長における靴の重要性を考え、足型計測器によるサイズ計測や、専門の研修を受けたスタッフによる適切なご提案など、子どもの大切な足を守るための靴選びに関する情報・サービスを提供しています。

Genki-Kids

キッズニア東京 キッズニア福岡

キッズニア東京・キッズニア福岡にオフィシャルスポンサーとして「くつ工場」パビリオンを出展しています。子どもたちに『くつデザイナー』としての職業体験を通して、創造力や物を大切にする気持ちを育んでほしいと考えています。ものづくりの面白さを知り、足や靴への興味を深めるきっかけになることを期待しています。

KIZANIA

ムーンスター 自由が丘

MOONSTAR
JIYUGAKO

渋谷からほど近い都心の立地でありながら、中心部から少し歩けば住宅街が広がる、暮らしのそばにある自由が丘に店舗を構えています。ムーンスターのものづくりは、靴をつくって終わりではなく、靴が履かれ、その人の暮らしに馴染んでいくことを志向しており、履く人によっていろいろな使い方がするという『使い方に余白をもたせた』ものづくりを大切にしています。

JIYUGAKO



ムーンスター自由が丘メーブルストリート店

オープンファクトリー 2024

ムーンスターのものづくりに込めた想いに触れていただきたいと、創業 150 周年を記念し開催した『オープンファクトリー』。普段は自由に見てまわることができない工場内を一般開放したり、廃材を利用した小物づくりやシルクスクリーンなど、靴づくりの一端が体験できる「ワークショップ」を実施しました。その他にも、ムーンスターはさまざまなイベントを通して地域の方々と交流しています。

OPEN FACTORY



オウンドメディア

In Use

“使うこと”を考える

使い心地がよいものを長く使う。佇まいを楽しむ。人と繋がる。オウンドメディア In Use は、ムーンスターのものづくりやその周辺にある価値観をていねいに共有し、“使うこと”について考えていく場所です。



<https://inuse.jp>

ムーンスターの 様々な取り組み

私たちは、さまざまな社会貢献活動を自治体や企業と連携して行い、地域活性化や SDGs 達成に向けて、ムーンスターが
できること・やるべきことは何か考え実行しています。



走り方教室



ムーンスターでは子どもたちに正しい走り方を身につけてもらうため、プロの講師の方をお招きし不定期で走り方教室を開催しています。「もっと速く走りたい！」子どもたちのそんな夢を
かけこ教室やシューズを通じて応援しています。最新モデル
を中心とした、シューズの試履き体験実施など、子どもたちの
サポートを行っています。

I'm UWABAKI Project



150 周年事業の一環として「I'm UWABAKI ~MoonStar Identity Project~」を開催しました。日本の子どもの「自己肯定感」は欧米
など 6 カ国と比較し、最も低いとのこと。そんな他国と比べ自己肯定が苦手な日本の子どもたちに、「みんなと同じだけど、自分の色を持
った上履き」を通して自分のアイデンティティを認識し、適切な
自己肯定感を育んでもらいたいと考え企画したプロジェクトです。

子どもの足とくつのこと



「子どものくつは、何を基準に選べばいいの?」「子どもが最近、く
つを履くの嫌がる・・・」「いま履いているくつのサイズが正しい
のか知りたい!」そんな、子どものくつにまつわる悩みや疑問を
わかりやすくまとめたガイドブックです。子どもの健やかな成長を
サポートするため、一見難しそうに思える子どもの靴選びを、イラ
ストを交えながら解説しています。

サステナビリティへの取り組み



持続可能な社会の実現に向けて、環境マネジメントシステムを運用
し環境関連業務、省エネ、省資源および廃棄物の削減など地球環境
保全に配慮した取り組みを行っています。ベビー向けの商品には自然
素材のカテキンをを用いた抗菌防臭機能を搭載したり、ゴムや革の
端材を再利用した素材の使用を積極的に行っています。環境配慮型
の商品として、地球にも足にもやさしいシューズを提案しています。



6ヶ月製品保証

創業 140 周年のタイミングで、品質を保証する
サービスとして 6ヶ月製品保証を始めました。
お客様にさらなる満足を感じていただけるアフ
ターフォローであると同時に、発覚した不具合
が何故どのようにして起こったのかを検討する

ことで、品質管理をさらに徹底できるようにな
りました。ムーンスターはより良い製品を開発
するため、企画段階、生産段階、そして製品と
なってからも、常にテストを繰り返し、品質を
チェックし続けています。

MOONSTAR TIMES

MOONSTAR TIMES では、イベントレポートやインタビューな
ど、ムーンスターの取り組みについて共有するオウンドメディ
アです。運動会や七五三など、季節の催し物に合う商品提案も
行っており、さまざまな生活に寄り添う、ムーンスターならで
はの情報を発信しています。



<https://www.moonstar.co.jp/moonstartimes/>

ムーンスターの メッセージ

使われてこそ価値のあるものをつくりたいと思っています。

選ぶときより、買うときより、使っているときが、いちばんきもちいい。ふと気づくと、お気に入りになっている。大切に使いつづけていることが心地よくて、なんだか誇らしいきもちにさえていく。

そんな、使うことで感じるしあわせをつくれたらと思います。

だから、どうしたら人の暮らしは豊かになるんだろう？ということ問いつづけます。

必要性や必然性から生まれるもの。工夫があって、使い心地がよくて、丈夫で長持ちするものをつくります。

大切にしたいことを理解してもらえるように、ものづくりの背景やストーリーを、丁寧に伝えていきます。

ムーンスターがつくりたいものは、生まれた場所も、歩んできた人生もちがう、それぞれの暮らしの中にあります。

ひとりひとりちがう作り手と使い手が互いの価値観を共有し、発信し合い、暮らしを豊かにするものとはどういうものなのかを考えていく。

そういうものづくりが理想です。

ムーンスター



<https://www.moonstar.co.jp>